

科目名	国語Ⅱ Japanese II			担当教員	坂本 具償		
学 年	2年	学 期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分 野	一般	授業形式	講義	科目番号	12120012	単位区分	履修単位
学習目標	1. 現代文や古典の読解を通して、他人の物の見方や考え方を知る。 2. 正しい日本語で表現するための基礎を身につける。						
進め方	講義形式を基本とする。予習・復習に努めてほしい。また、意見を書いたり発表したりしてもらうこともある。原則として週に1回漢字小テストを実施する。						
習内容	学習項目(時間数)			学習到達目標			
	※全体ガイダンス(1) 1. 随想と小説(13) (1) 随想 ピカソの力強い線(高樹のぶ子) (2) 小説 山月記(中島敦)			<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の表現することへの思いをとらえることができる。「ピカソの力強い線」 ・文中の表現をたどりながら、主人公李徴が、なぜ虎となったのかをまとめることができる。「山月記」 <p style="text-align: right;">学習・教育目標:(A)</p>			
	[前期中間試験](2)						
	※試験解説(1) 2. 表現(13) (1) 国語表現の実践 ア. 類義語 イ. 慣用表現 ウ. 敬語 エ. 文の乱れ オ. 明快な表現 カ. 文を短く			<ul style="list-style-type: none"> ・正しい日本語で表現するための基礎的事項を理解する。 <p style="text-align: right;">学習・教育目標:(D)</p>			
	前期末試験						
	※試験解説(1) 3. 評論(13) (1) 恐怖とは何か(岸田 秀) (2) サッカーと資本主義(大澤真幸)			<ul style="list-style-type: none"> ・文章構成を捉えて、論旨をまとめることができる。「恐怖とは何か」 ・論理の展開をたどりながら、筆者の主張をまとめることができる。「サッカーと資本主義」 <p style="text-align: right;">学習・教育目標:(A)</p>			
	[後期中間試験](2)						
	※試験解説(1) 4. 漢文(13) (1) 知音 (2) 鴻門之会			<ul style="list-style-type: none"> ・訓読の基本事項を理解する。(知音) ・表現を通して鴻門の会での緊迫感を捉えることができる。(鴻門之会) <p style="text-align: right;">学習・教育目標:(A)</p>			
後期末試験							
試験返却(1)							
評価方法	1. 評価の内訳:漢字小テストの成績を10%、提出物を15%、定期試験を75%とする。 2. 学習項目ごとの全体評価への重みは、1～4のそれぞれについて、各25%とする。						
履修要件	特になし						
関連科目	国語Ⅰ(1年)→国語Ⅱ(2年)→国語Ⅲ(3年)→文学特論Ⅰ(4年)→古典文学(専攻科2年)						
教 材	教科書:新編現代文[改訂版]三省堂 柴田武他編 問題集:新編現代文[改訂版]課題ノート 三省堂 新編現代文編集委員会 教科書:新編古典 筑摩書房 鈴木日出男他編 漢 字:級別漢字学習4級～2級 東京法令出版 赤羽靖他 表 現:基礎からの国語表現の実践 京都書房 樺島忠夫・佐竹秀雄共著 辞 書:電子辞書等(国語辞典 古語辞典 漢和辞典)						
備 考	特になし						